



菅原市長がインドネシア共和国 友好アンバサダー賞を受賞しました

- 本市とインドネシア共和国は、基幹産業である水産業を通じ深いつながりがあり、遠洋近海マグロ船の乗組員をはじめ、水産加工業、建設業に多くの技能実習生が雇用されるなど、本市の経済活動に大きく貢献していただいております。現在は約280名のインドネシアの方々が技能実習生として活躍されております。
- また、みなとまつりにおける気仙沼商工会議所青年部の「バリパレード」を契機としたインドネシア大使館との交流の継続や、震災時のユドヨノ大統領の訪問など様々な交流により友好関係を深めてまいりました。(経過は別紙参照)
- その後もインドネシア料理店や祈りの場(ムシヨラ)の出店・設置、(一社)気仙沼インドネシア友好協会の設立、インドネシアフェスティバルの開催、インドネシア技能実習生の地域での交流など、市民の方々が中心となり友好交流が行われております。
- この度、菅原市長にインドネシア共和国との友好関係に貢献した感謝の印として『インドネシアー 日本 友好アンバサダー賞』が贈られました。
- これは、市民の方が中心となり行われてきたこれまでの友好的な交流活動が評価されたものであり、市民の皆様の代表として受賞したものであります。
本市は今後もインドネシア共和国を最重要国の一つとして市民の皆様と共に友好交流を継続・拡大してまいります。

【受賞概要】

- 1 日 程：令和5年11月6日(月)
- 2 会 場：シェラトン都ホテル東京(東京都港区白金台1丁目1-50)
- 3 概 要：インドネシア共和国大使館とインドネシア銀行が国交65周年を記念して共同開催した「インドネシアナイト」において、インドネシア共和国との友好関係に貢献した15名がアンバサダー賞を受賞しました。
- 4 その他：インドネシア銀行総裁のペリー・ワルジヨ氏より、記念品として特注のインドネシアの民族衣装が贈呈されました。

【これまでの交流概要】

- 2003年(平成15年)当時、気仙沼商工会議所青年部が水産業で活躍されているインドネシアの方々のために、気仙沼みなとまつりで「バリパレード」を開催したことをご縁に、インドネシア大使館との交流が始まりました。

インドネシア大使館の方々や商工会議所の方々が相互に訪問交流を続けられ、震災後に流失した祭りの山車(バロン)の寄贈などインドネシアから多大なご支援をいただいたことから、パレードの名称を「インドネシアパレード」に変更し、現在も駐日インドネシア大使に出席いただくなど、みなとまつりを通じた交流を行っております。

また、本年はまつりに併せ、インドネシア駐日大使館職員による県内外のインドネシア人の方々のためのパスポートセンターを設置するなど、居住する方々の生活支援も行いました。

- 東日本大震災の折には、当時のインドネシア共和国ユドヨノ大統領夫妻が来訪され、避難所を訪問し大きな励ましと多額のご寄附をいただきました。

ご寄附は気仙沼図書館の中に「ユドヨノ友好こども館」として整備に活用させていただいており、図書館・こども館は現在も多くの市民に愛され利用されております。

